

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ウラギンシジミ	シジミチョウ科	裏が銀色のタテハチョウの ようなシジミチョウ	○	○	○	本州以南



川崎市 5月31日 (2017年) ♂



川崎市 9月28日 (2013年) ♀



川崎市 9月20日 (2009年) 飛翔力の強そうな体型



川崎市 5月24日 (2021年) 対照的な裏と表 (♂)



←  
川崎市 9月6日 (2003年)  
シラカシの実を訪れる。秋型は前羽  
の先が尖る傾向

→  
多摩川土手 中野島 8月25日 ♀  
(2019年) クズの葉上にとまる



成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草 ○ 食樹							発生回数/年		越冬形態		
クズ、フジ、ハリエンジュほかマメ科							2		成虫		

春から初夏にかけても見られますが、クズの花が咲く秋口には特に多く（クズの花、蕾を食す）、ハイム内でも見かけることがあります。オスの羽表は橙色、メスは白色で共に縁取りは幅の広い濃灰色ですが裏は共通して名前の通り銀白色で、猛スピードで飛んでいてもこの銀白色はよく目立ちます。晩秋には常緑広葉樹に集まる習性があり、生田緑地でもつつじ山頂上付近のシラカシにはたくさん本種が集まっているのが観察でき、これらの樹の葉裏で成虫越冬します。幼虫は線香花火（写真）のような奇妙なパフォーマンスで敵を威嚇します。



多摩川中野島 9月7日（2019年） クズの花穂ですれ違う終齢幼虫。上に乗られた右側の個体が尾端の線香花火状のブラッシュで相手を威嚇している。双方とも背景色に同化（保護色）していたとみられる。



川崎市 12月20日（2021年） 越冬体勢に入っているウラギン。通常は葉の裏で縮こまる。